



議会だより

でいすかす

105号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2021.2.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ホームページで、議会の活動や各種情報をご覧いただけます

委員会だより



▲登別市総合防災訓練（隔年開催）の様子

事前準備することや、住民が主体となつて作成する「地区防災計画」の普及など、地域住民による「防災コミュニティの力」の後押しとなるよう、取り組んでいきます。
(小栗)

本委員会の重点活動テーマとしての防災・減災のまちづくりについては、基本となる条例の素案を作成し、策定に向け調査を進めています。
平成30年7月の西日本豪雨では、浸水した地域のほとんどがハザードマップで危険性が予測されていたものの、住民の多くがその内容を十分に理解していなかったことで、被害が大きくなったといわれています。
いざというときにハザードマップを機能させるためには、行政が先導して防災教育を進め、お互いを助け合う力を高めていく必要があります。
本委員会は、条例策定に当たり、市民一人一人が「災害時に何をするのか」事前に準備することや、住民が主体となつて作成する「地区防災計画」の普及など、地域住民による「防災コミュニティの力」の後押しとなるよう、取り組んでいきます。

生命と暮らしを守る
防災・減災
総務・教育委員会



▲音更町を視察した委員

援の先進地である上士幌町と音更町への行政視察を実施しました。報告書については、市議会ホームページでご覧いただけます。
(千田)

第3回定例会以降、所管事務調査が17件あり、うち条例審査が8件、補正予算に係る案件が9件ありました。
第4回定例会に上程された案件について、らくらく窓口証明書交付サービス導入事業は、市役所1階の市民窓口「コンビニ交付サービスと同様のシステムを設置します。バスロケーションシステム導入事業は、バスの運行状況をスマホなどで確認することが可能になります。そのほか、一時預かり事業及び延長保育事業の感染防止対策、市立保育所の空気清浄機能付エアコン設置による新型コロナウイルス予防対策が補正予算審査で可決されました。
本委員会の重点活動テーマである子育て環境の充実強化のため、子育て支援の先進地である上士幌町と音更町への行政視察を実施しました。報告書については、市議会ホームページでご覧いただけます。

案件審査と委員会視察
を実施しました
生活・福祉委員会



▲日本工学院の学生と委員

「など」の率直な意見をいただきました。今回の貴重な意見を生かし、引き続き重点活動テーマに取り組みしていきます。
(宮武)

本委員会の重点活動テーマである、中心市街地の活性化について、これまでさまざまな団体と意見交換を実施しました。課題として、まちづくりに参加する若者が少ないという意見があったことから、まちづくりに参加経験のある、日本工学院北海道専門学校との意見交換会を実施しました。
テーマを若者が活躍するまちづくりと題し、ワールドカフェ形式で意見をいただきました。まちづくりに参加するメリットでは、「新たな人とのつながりや、多くの方に喜んでもらえる魅力の達成感など、参加して感じる魅力がたくさんある。今後多くの若者が参加するためには、参加のメリット作り、SNSを通してイベントの様子が分かるような配信を増やすことが必要である」などの率直な意見をいただきました。今回の貴重な意見を生かし、引き続き重点活動テーマに取り組みしていきます。

若者が活躍する
まちづくり
観光・経済委員会

議会BCP防災訓練を 実施しました 議会運営委員会

本委員会では、議会改革の継続的な推進に取り組んでおり、このたび、登別市議会業務継続計画（BCP）策定後、初となる防災訓練を実施しました。実施当日、千島列島沖マグニチュード8の地震を想定し、議員の安否確認と情報の整理を行い、議会災害対策会議を模擬的に開催しました。

また、災害対策会議の中で、議会BCPの理解を深めるため、今回の防災訓練の振り返りと課題や改善点の洗い出しを行い、事前に作成したハンドブックの重要なポイントを議員全員で共有し、理解を図りました。



▲BCP策定後、初となる防災訓練の様子

後日、本委員会において課題点の協議を行い、意見の多かった安否確認の方法については、通信手段の優先順位にグループウェアを使用することを決定し、グループウェアに直接書き込みをするなどを確認しました。

(二瓶)

一般質問 令和2年第4回定例会 議員12名が市政を問う

令和2年第4回定例会における議案の賛否状況
第4回定例会で上程された議案はすべて可決・認定されました。
(議案第70号のみ佐々木議員・渡辺議員が反対し、挙手採決)

国会・政府に1件の意見書を提出
意見書は、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するために関係機関に提出するものです。
第4回定例会では、次の意見書を可決しました。
詳しい内容は、市議会ホームページをご覧ください。

不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書



答 新型コロナウイルス感染症が、胆振管内においても感染拡大している現状を踏まえ、市の対応を質問した。
質 発熱などの症状を訴える市民からの相談への対応と、PCR検査を受けまでの流れについて伺いたい。



渡辺議員の一般質問
中継はこちら

**コロナ禍から
市民の命と暮らしを守る**
渡辺 勉

答 かけつけ医・身近な医療機関へ
また、本市における感染者情報の公表に関する事、本市職員が感染した場合の公表に関する事、医療従事者などに対するPCR検査（行政検査）の対象とならない方が検査する場合の費用の助成について質問しました。
ほかには、市民に気軽に検温していただくため、顔認識温度検知カメラを本庁舎、市民会館、公民館などに設置することを提案しました。

相談した後、北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センターへ相談する。相談内容に応じて、発熱者等診療・検査医療機関が紹介され、受診の結果、検査が必要となればPCR検査を受けることになる。



足立議員の一般質問
中継はこちら

**パブリックコメント制度を生かすには
足立 知也**

答 他市町村などの公表内容や手法を参考にしながら、分かりやすい表示となるよう研究していく。
また、提出された意見と意見数、意見に対する市の考え方のみで、意見がどのように取り扱われたかが確認しづらいが、改善する考えは。

を進めるなど、より意見を提出しやすい環境づくりに努めている。
質 これまでに、案の修正など、提出された意見を反映したものはあるか。
答 いただいた意見を参考に、一部修正した上で、成案とした事例がある。
質 近隣市では、提出された意見を分類して公表している。また、提出意見数に加え、意見者数も公表している。
本市は、提出された意見と意見数、意見に対する市の考え方のみで、意見がどのように取り扱われたかが確認しづらいが、改善する考えは。

子育て環境など充実の

米田登美子



米田議員の一般質問
中継はこちら

質 保育所、児童館、学童保育所などの子育て施設における人的・物的環境に対して、現状と課題の認識についての考えと、コロナ禍にある子ども食堂の安全・安心な運営に対する支援の在り方については。

答 子育てアンケート結果の中で、幼

本市の地球温暖化対策は

二瓶秀幸



二瓶議員の一般質問
中継はこちら

質 現在急速な勢いで進んでいる地球温暖化だが、生活に与える影響は異常気象や自然災害、農作物や漁獲量の変化や落ち込みなどさまざま、この事態を招いていることを反省して地球温暖化対策に取り組んでいくことが求められている。そこで、区域施策編の取

稚園・保育所の無償化や医療費の無償化を一部実現できたが、休日・雨天時などの活動施設の要望は、児童館の活用を促すが、休日利用は人員の配置などに課題があり、実施困難だと感じる。

施設整備については、定期点検や目視などで対応している。

職員のスキルアップと現場の負担軽減策として他市町村と連携し、子育て支援員研修については検討していく。

また、子ども食堂については、食材の確保や運営費の確保など、課題として認識しているが、今後この状況において開催が可能となった場合、活動に関する各種の相談内容に応じて、可能な範囲で対策を検討していく。

り組みと目標は。

答 ごみの分別の徹底と減量化を強化しており、令和12年度に平成25年度対比で26%削減を目指している。

質 事務事業編の取り組みと目標は。

答 暖房用燃料の節約、照明のLED化、庁内会議の資料のペーパーレス化、公用車の電気自動車利用などに取り組み、令和3年度に平成28年度対比で5%削減する。

質 第2期総合戦略の施策でSDGsの環境に関する目標13「気象変動に具体的な対策を」はゼロである。早期に独自計画を出すべきでは。

答 地域全体でSDGsの目標13を含んだ温暖化対策に取り組んでいく。

そのほかの質問：登別市アイヌ施策推進地域計画について

市民サービス向上の

村井寿行



村井議員の一般質問
中継はこちら

質 市民サービスの向上に向けた取り組みとして、押印廃止に関する市の考えは。

答 現在、はんこが必要な書類は、とりまとめ作業中であるが、1千500種類を超える申請書などに押印を求めている状況にある。

市職員の中途退職者を

田中寛志



田中議員の一般質問
中継はこちら

とについて、11月までに私に寄せられた情報を基に質問しました。

質 改善状況の確認と申請された残業時間と実労働時間の差異や、人事評価における恣意的評価、パワハラの有無についての認識は。

答 超過勤務を行う場合は、所属長が超過勤務の有無を職員に確認後、超過勤務の業務内容や必要性を判断し、超過勤務時間を確定している。

本市における人事の職員対応と課題に対する考え方については、退職時における必要な手続きを確認の上、適切に対応している。本市においてパワハラに関する事例はないが、今後、周知と防止に努める。

可能な限り申請手続きの簡素化や、各種オンライン申請化を進めるため、市民から提出していただく各種申請書などに関しては、押印廃止が可能なかどうかの検討を進めることとしている。

また、行政手続きによるはんこを廃止した場合、本市のメリットとしては、押印を廃止することにより、市民の利便性の向上のほか、ペーパーレス化や行政手続きにおけるデジタル化の推進にもつながる取り組みであるものとして認識している。

今後は、国から示される自治体ガイドラインを参考にしていく。

ふるさと納税の使途は

千田文孝



千田議員の一般質問
中継はこちら



の性質としても、モノとして残る事業は望ましい、経常的事业は望ましくないなど、何らかの制約があるものではないと認識している。

質 公園の遊具の修理や更新、障がい者から要望されている公共施設のバリアフリー化、子育て世帯の支援など、寄附金の充当先としてまちづくりの実感が得られやすい事業へ積極的に実施してはどうか。

質 本市のふるさとまちづくり応援寄附金は、年々大幅に増加している。寄附者が本市のまちづくりに貢献した実感が得られるような使い方であるのか。

答 ふるさとまちづくり応援寄附金ありきで新規事業を検討することは、施策推進のバランスを欠くことにもつながり、安定的に見込まれる収入ではないため、後年の財政運営に悪影響を与えかねないと認識している。

ト環境に気軽に触れていただくためのものでした。

市民活動推進にWiFi整備が急務では

辻弘之



辻議員の一般質問
中継はこちら



現状、登別市内の公共施設において、市民の方が会議などでWiFiを使用できる場所は「市民活動センターのほりん」しかなく、そのほか、市役所やしんた21などでしか使用できません。これまでのWiFi整備の趣旨は、市民の憩いの場として、インターネッ

しかしながら、コロナ禍の中で多くの市民団体がオンライン会議サービスを活用し、オンラインとリアルのハイブリッド型で会合を持つ機会が増えております。また、資料の閲覧などにクラウドサービスを活用する方も増えているため、市民活動の推進には、実務的に使用可能なWiFi整備が急務であることを提案しました。

結果、登別駅前に建設を予定している(仮称)情報発信拠点施設への整備のほか、市民会館や警視公民館を優先的に、会議等に使用される貸室にWiFiを整備する方針が示されました。

市役所の建設場所の再考を

若木康夫



若木議員の一般質問
中継はこちら



先般、内閣府より、新たな津波浸水想定が出されたことに伴い、現在地は約6mの津波浸水区域となるため、主に防災の観点から質問しました。

一般質問に当たり、市民への独自意向調査を行い、いくつかの設問の中で「建設する場所はどこが適切であるか」

の問いに対して、回答数の58%が「高台への移設」と答え、そのうち38%の方が「陸上競技場」と答えています。これらの結果を提示し未来のことを考えれば、新しい市役所本庁舎は津波浸水想定区域内には建設すべきではないと発言し、計画の抜本的な見直しを提言しました。

市からは、令和3年3月までに北海道から公表される新しい津波浸水予測の結果を踏まえ、浸水の想定が大幅に上回った場合、庁舎建設位置は基本構想の段階から見直す必要があるといった考えが示されました。新しい市役所の建設位置の決定は、令和3年度中に発表される予定です。

教職員の働き方改革の現状は

佐々木久美子



佐々木議員の一般質問
中継はこちら



質 勤務時間管理の現状は。

答 教職員が出退勤時に専用のパソコンに入力している。

質 1カ月で45時間以上の時間外勤務をしている教職員の割合は。

答 令和2年4月から9月までで約36%となっている。

小学校と中学校の割合は。

質 教職員が担う役割が増加しているとのことであるが、どのような業務が増加しているか。

答 平成18年度に比べ、授業や授業準備、部活動などで勤務時間が増加している。

質 1年単位の変形労働時間制導入の考えは。

答 導入により、業務や勤務時間が縮小されるものではないが、各自治体の判断で選択制となっている。北海道での議論を注視し、他自治体の動向を踏まえ導入を検討する。

お悔やみ相談窓口の設置を

小栗義朗



小栗議員の一般質問
中継はこちら

質 家族が亡くなられた際に、遺族が行う行政手続きはどのようなものがあるのか。

答 死亡届や火葬許可申請のほか、国民健康保険などの医療保険や市税、介護保険などに関する手続きがある。本市では主な手続きの一覧を作成し、遺

子どもの弱視を

今野幹大



今野議員の一般質問
中継はこちら

子どもの弱視は幼児期に治療を始めれば改善するケースが多い一方、視力の発達が止まってからでは治療が難しくなっています。

そこで、3歳児健康診査が重要となりますが、視力検査における子どもとの意思疎通は難しく、大きな課題と

族にお渡ししている。

質 行政手続き以外の手続きにはどのようなものがあるのか。また、それらを記載したガイドブックの作成は。

答 各種年金や生命保険、預貯金、不動産登記、電気、ガス、電話などの手続きが考えられる。今後、現在の一覧表に、市以外の手続きや必要な添付書類などの記載を検討する。

質 お悔やみ相談窓口の設置の考えは。

答 人員配置やシステム構築などの費用面の課題もある。国の動向や先進事例などを調査し、検討していく。

早急なガイドブックの作成と、お悔やみ相談窓口の設置を提言しました。

なっており、新しい検査体制が求められております。

質 「なぜもっと早く気づいてあげられなかったのか」との保護者からの悲しい声を出させないためにも、3歳児健康診査にて視機能検査機器を早期に導入すべきでは。

答 機器の導入により、3歳児健康診査にて短時間で簡便に検査ができるほか、弱視の疑いを発見するための屈折検査や斜視の検査を多角的に行うことができるものと認識している。

先進的に導入している自治体や、小児科からも、弱視の早期発見に大変有効であることから、早期の導入に向けて検討していきたい。

予算・決算委員会（令和2年度 各会計補正予算審査）

本委員会は、12月4日の本会議終了後、資料要求の確認を行うとともに、12月16日に開催した委員会において慎重な審査を行いました。

初めに、令和2年度登別市一般会計補正予算については、

●総務費

①電子決裁システム導入事業費②内線電話モバール化事業費③音声認識システム導入事業費④自治体システム強靱化事業費⑤らくらく窓口証明書交付サービス導入事業費

●民生費

①生活交通路線維持対策事業費補助金②バスロケーションシステム導入支援事業補助金③一時預かり事業等新型コロナウイルス予防対策支援事業補助金④新型コロナウイルス予防設備整備事業費（保育所）

●農林水産業費

①地場農畜産物加工品販売推進補助金

●土木費

①登別ビーチパーク敷地購入費

●消防費

①消防本部新庁舎建設事業費

以上に対して、それぞれ質疑を行い、質疑終了後、全会一致で原案のとおり可決しました。次に、令和2年度登別市介護保険特別会計補正予算、令和2年度登別市後期高齢者医療特別会計補正予算については、特に質疑なく、全会一致で原案のとおり可決しました。

(天神林)

令和2年 第5回 臨時会のあらまし

第5回臨時会では、登別商工会議所が発行するプレミアム商品券「赤鬼・青鬼チケット」の追加発行に伴う補正予算について、商品券の申し込みの上限が超過する見込みとなったため、商品券を追加発行することで最大の経済の循環や早急な事務が可能となり、市民サービスの向上にもつながることから、10月12日付けで専決処分を行ったことが報告されました。

また、登別市職員の給与に関する条例及び登別市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正では、人事院で民間の給与との格差に基づく給与改定の勧告が行われ、国家公務員に準じて、給与の改定を行うこととなりました。

(工藤)



▲第5回臨時会の様子

予算・決算委員会（令和元年度 各会計決算審査）

委員長概要報告

令和元年度「各会計決算の認定及び水道事業会計・下水道事業会計における利益の処分及び決算の認定」については、10月27日から29日の3日間で行われました。

●委員間討議を行い認定した議案

①一般会計

●全会一致で認定及び可決した議案

①国民健康保険特別会計

②介護保険特別会計

③水道事業会計利益の処分及び決算

④下水道事業会計利益の処分及び決算

●採決の結果賛成多数で認定した議案

①学校給食事業特別会計

●質疑なく全会一致で認定した議案

①カルルス温泉スキー場事業特別会計

②後期高齢者医療特別会計

③簡易水道事業会計

以上、各議案に対して、委員から事業の成果や課題、今後の方向性など、さまざまな観点から質疑を行い、また、2各派からの総括質疑を通じて、慎重な審査を行いました。（天神林）

市民・前進 総括質疑

質 市税の決算状況を見ると現年課税分の収納率が上がっており、全体も対前年度比で0・7%増であるが、その要因は。

答 職員の日々の折衝と、早期に積極的な滞納処分を行った成果と捉えている。

質 市債の状況を見ると228億3千400万円の前年より増加しているが、市債残高の適正な額とはどの程度か。

答 負債残高の目安である将来負担比率は、対前年度比で3・7%減であり、債務は圧縮されていると認識している。

質 現状の子育て施策の方向性は。

答 妊娠、出産、子育てに関する不安などを解消し、相談しやすい環境の整備、不育症に関する費用の一部を助成、子ども医療費助成の対象者拡大の検討などの取り組みを進める。

質 上土幌町では、子どもが生まれてから2年間ごみ袋の無料配布を行っているが、本市の考えは。

答 直接給付型の支援や減免制度が、どの程度子育て世帯を本市に誘導する要因になるのか、議論の余地がある。（二瓶・千田）

市政クラブ21総括質疑

本市の財政状況は人件費、扶助費、公債費などの義務的な経費が財政を圧迫しており、また実質単年度収支は平成27年度が黒字であって以降、毎年苦しい財政状況で推移しています。

令和元年度決算は、一見黒字に見えますが、財政調整基金以外の基金などの取り崩しを考慮すると、1億4千万円の赤字であり、実質4年間連続の赤字を計上したことになります。

厳しい状況下で財政を立て直すには、市民にとっても痛みを伴う行財政改革を断行せざるを得ないのではないかと考え、市長の覚悟をただしました。

先般、令和3年度から10年までの中期財政見通しが示されましたが、依然厳しい財政状況が続く中、財政上の負担軽減や平準化の観点から、公共施設の在り方について更新や統廃合、長寿命化などを計画的に行い、公共施設を適正配置することが肝要との答弁がありました。また、税収入の確保を図るため、地域産業活性化・企業誘致の取り組み、コロナ禍における地域病院への支援などを要望しました。（杉尾・若木）

本市の学校給食は

佐々木 久美子

質 昨年度の給食にはどのような変化があったのか。

答 登別燗焼きそばが復活した。

質 給食費は道内で何番目に高いのか。

答 小学校では3番目となっており、中学校では2番目に高い状況にある。

質 他自治体より高い要因として、米飯や揚げ物を作る設備がなく、外注に頼らざるを得ないと聞いているが。

答 米飯や副食を自前で用意できるようになれば、より低コストを抑えられる可能性があると考えている。

収納率向上の取り組みは

二瓶 秀幸

質 水道事業会計の収納に関して、給水収益の収納率は93・95%と前年比で増加しているが、収納率上昇に向けた取り組みはどう捉えているのか。

答 徴収員の電話や訪問による折衝や徴収、さらに職員による訪問調査なども随時実施している。未納者との約束内容や納付状況を常に確認することで、未納を放置することなく、早期対応となるため、実際に給水停止を行う前での納付が多くなり、収納率の向上につながった。

中学生デンマーク派遣の実施判断

田中寛志

令和3年度中学生デンマーク派遣の実施は、いつどのように判断するかを質問したところ、実施可否については政府の判断に重きを置いているとの答弁がありました。

欧州の感染状況は、地理的条件、気候や風土、習慣などによって大きく左右されるため、政府の判断基準の延長線上では、実施判断がさらに難しくなります。そこで、より慎重な実施判断のご検討をしていただきたいと要望しました。

防災会議委員に女性委員を

千田文孝

防災会議の委員に女性がいない。避難所運営など女性の視点も必要ではないか。外数でも入れられないのか。

答 現在の防災会議委員29名は、全て男性の委員である。

委員の任命は、国や北海道など各種防災に関する機関の長や責任者の承諾をいただき、任命しているが、各機関の長などの多くが男性であり、事実上すべて男性となっている。

今後は、各機関へ女性委員任命の承諾の打診を検討していく。

ふるさと納税のさらなる促進へ

成田昭浩

寄附者への実績報告とリピーター確保への取り組みは。

答 最新版カタログや前年度の寄附状況を報告している。24・8%がリピーターであり、割合は増加傾向である。

寄附の増加や事務量増大への対応で業務委託をしているが、その効果は。

答 業務負担は軽減され、年末のピーク時にはさらなる効果が期待できる。

寄附者への実績報告に加えて、アンケートなどの意向調査の有効性、必要性についていただきました。

公共交通利用者のニーズ把握は

井野正臣

地域公共交通計画を今後策定していく中で、利用者のニーズをどのように反映させていくのか。

答 利用者ニーズの反映については、令和2年2月に実施した公共交通に関するアンケート、利用者の代表として登別市地域公共交通活性化協議会に参加いただいている委員の意見を聞いている。

また、今年度の事業においてバス利用者への実態調査によりニーズなどを把握し、計画に反映させていく。

新登別大橋に防犯カメラを

若木康夫

委託料が増額した理由は。

答 新登別大橋の巡回警備委託のため。

巡回警備の効果は。

答 事業開始後、一年以上自殺事案が発生しなかったため、一定の効果があると考えている。

防犯カメラはいつ設置されるのか。

答 令和2年12月中に設置予定である。

10月の当該事案の発生について。

答 大変痛ましいことである。来年度は巡回警備の実施時間を増やすことを検討している。

登別産水産物の普及促進を

今野幹大

一次産品普及促進事業の食品サンプルに水産物が無いが、水産物に対する普及促進への取り組み状況は。

答 毎年3月に、「カルルス温泉冬まつり」でサケのクリームシチューを振る舞つなどのPRを行っている。

今後、さらなる登別産水産物のPR強化やブランド化促進の考えは。

答 漁業者や組合、仲買人などからブランド化に関する相談があったときには、市としても関与していきたいと考えている。

PRキャラクターと観光大使

足立知也

本市PRキャラクター登夢くんを、本市観光大使である新日本プロレス矢野通選手のセコンドとして入場させたり、会場で本市パンフレットの配布をさせていただくなどの活用については、どのように考えるか。

答 矢野選手と連携することによって、本市の名前が広く発信されると思っている。登夢くんは、さまざまなイベントにおいて、にぎわいの創出や集客に活用している。活用が可能な場合は、本市観光のPRを行いたい。

文化をより知っていただく工夫を

伊藤健太

アイヌ文様のデザインコースターを配布するに当たり、よりアイヌ文化を知っていただくための工夫が必要だったのでは。

答 コースター包装袋の裏面にアイヌ文様の意味などを記したシールを貼り普及を図ったところである。今年度の事業では、デザインに込めた思いや有識者の知見など、成果品が仕上がるまでの経緯について、ウェブサイトを通じて周知方法を検討していきたい。

登別ブランドの推進強化へ

★ 村井 寿行

質 現状の取り組み状況と、今後の取り組み・方向性についての考えは。

答 現在の認定事業者数は14社、推奨品の認定数は34商品となっている。

今後の事業については、登別ブランド応援隊として、ブランドをPRする団体を募集し、SNSなどへの情報発信に協力をいただく。

また、今年度は中止となったが、ブランドマルチエについては、来年度以降の開催に向けて検討する。

除雪業者確保のために

★ 杉尾 直樹

質 除雪対策経費について、時間当たりの単価や最低保証金額が、室蘭市に比べ安価であるという事業者からの意見に対する見解は。

答 市民生活に影響がないように除雪体制を確保するため、最低保障や単価の見直しについて随時検討し、適正価格で協定を締結するよう努める。

このほかに、新型コロナウイルス感染症に伴う生活困窮者への対応や、富岸青少年会館の利用停止への対応などについていただきました。

空家等対策事業の今後の展開は

★ 小栗 義朗

質 空き家などの解消のために補助事業があるが、利活用が進んでいない状況にある。今後、空家等対策事業をどのように展開していくのか。

答 今年度から、昭和56年以前の住宅を対象に、自己居住用住宅を新築する際、空き家などを取得して除却する場合は除却費の一部を補助する制度を新設し、さらなる利活用を図っている。

空き家などの対策は、所有者などの責任において行う必要があり、今後も意識啓発を促していく。

市民プール利用率の向上を

★ 米田 登美子

質 めくもりある福祉基本条例がある中、本市においてバリアフリー化など課題はないのか。また、利用率向上に向けた今後の対応についての考えは。

答 過去には「北海道福祉のまちづくりコンクール」で奨励賞を受賞し、市民に多く利用いただいていると認識するが、課題の一つである身体障がい者の男女兼用ロッカー室は、設備の改善を目指す。今後は、利用者のニーズを把握し、施設環境を整え、利用率向上に努める。

笑顔で新学期を迎えるように

★ 渡辺 勉

質 新入学準備金は、6月支給から3月支給へと受給者の要望に沿って早められた。余裕を持って新学期を迎えるためにも、現行の3月支給を1月、2月支給へ早めるべきだと思うが、市の見解は。

答 支給時期を早めることで、支給後、入学予定者の転出が増えることが予想される。

転出者は0から1名であるため、事務量が増えるとは考えられないと指摘しました。

心身の健康増進に向けて

★ 宮武 祥子

さまざまな活動に制限が掛かる今、心身のバランスを保ち、健康を増進するためには、運動が不可欠です。本市が指定管理する市民プールは、運動の得意・不得意や天候に関係なく、多くの方が気軽に使える運動施設です。

ウィズコロナ時代、安心して運動できる環境整備について質問しました。

質 利用促進の取り組みは。

答 利用しやすい環境作りや教室内容など、新しい生活様式に合わせた利用方法について検討していきます。

議会中継をスマートフォンなどで閲覧しませんか？

第1回定例会は2月22日（月）から開催される予定です。本会議や各委員会は、スマートフォンやパソコンなどからでもご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、できる限りご来場しての傍聴はお控えいただき、スマートフォンやパソコンなどから議会中継をご覧いただきますよう、ご協力をお願いします。

皆様からのご意見をお聴かせください！

gikai@city.noboribetsu.lg.jp

市議会フェイスブックページ開設のお知らせ

登別市議会からのお知らせや、本会議・委員会の開催日時などをリアルタイムで確認していただくことができます。また、会議外における議会活動や取り組みなども写真付きで随時更新していく予定です。

ぜひ、ご利用ください。

二次元バーコードでのアクセスはこちらから！→

<https://www.facebook.com/noboribetsu.shigikai/>

